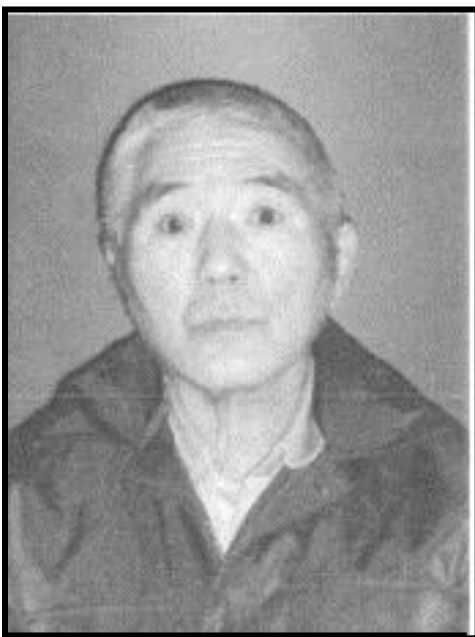


松本載次さんが「自称」となった訳

2001年から 2009年まで輪番登録。本籍地の届けもあったのだが・・・



故 松本載次さん

享年 69歳

本籍：京都市伏見区

肉体は滅し、戸籍は生き続けることになった松本さん

生身の生を大切に

今号には、先号に紹介した官報の行旅死亡人公告を再度紹介しています。

「松本載次」の「載次」が珍しく、どこかで見た記憶があると思っていいたら、ある人が「これ輪番さんやわ」といいました。

確認すると、2001年に初めて登録（当時松本さん60歳）、その後、2009年まで途切れずに登録されていきました。

左の写真は、2006年のものです。写真を見て、「アア、あの人が」と思い当たった人もいるのではないでしようか。

和香に、写真を持って確認に行ったところ、「6月

10日に、20日まで払っているから、名前と顔を意識して見たとするとこの時だけ、常連さんでないから覚えていない」と言うことでした。

また、和香では「松本さん」としか判らず、「載次」はどこで判ったんだろうと不思議がっておられました。

2009年の登録は、病院からでした。2008

官報 行旅死亡人公告（号外119号 9月21日）

本籍・住所不詳、氏名（自称松本載次）、推定年齢69歳の男性、身長167cm、体格普通、着衣は上衣グレー色長袖ポロシャツ、白色半袖シャツ、下衣柄物トランクス、遺留金品は現金172,265円、印鑑1本、財布1個、腕時計1個

上記の者は、平成22年6月20日午前10時30分、西成区萩之茶屋2丁目2番16号ビジネスホテル和香510号にて発見されました。

死亡は平成22年6月19日頃（推定）、上記発見場所に同じ。死因は病死の疑い。遺体は検視のうえ、市立小林斎場にて火葬に付しました。心当たりの方は当区保健福祉センターまで申し出てく

平成22年9月21日 大阪市西成区長 林田 潔

年の輪番登録の後、救急搬送され、結核で入院されて
いたようです。

治療が終わったのが2009年の6月23日。しか
し、その後、輪番就労されることはなかったよう
です。もつとも、センター清掃での就労は問い合
わせていませんので、もつばら、センター清掃
だけで就労されていた可能性はありますが・・・。

「遺留金品は現金172,265円」とあります。松本
さんは、体調が思わしくなく、始末して貯めた
虎の子を使つて体調の回復を図るために、思
い切つてドヤに泊まる事にしたのだつたか
も知れません。それとも、死ぬときはせめて
畳の上と思ひ定めてのことかも知れませ
ん。

松本さんは、輪番登録の時に、本籍地を記入
していただきました。にもかかわらず、何故、
自称となり、行旅死亡人公告となつたので
しょうか。

西成警察署も、本籍を把握し、調べたよう
です。しかし、松本さんを松本さんと確認
する人が、誰もいなかった、だから、行
旅死亡人公告となつたということです。
（官報に掲載した西成区役所の話）

確認する人がいなかった事情については、
判りませ

ん。

肉親が見つからなかったのか、確認を断
られたのか、まったくわかりません。

只是つきりしているのは、生身の松本載
次さんが死に、戸籍上の松本載次さんは
生き続けるであろうという事です。

釜ヶ崎夜間学校ニュースの先号は、表面
が、本田良寛さんの25年忌の話で、裏面
が、行旅死亡人公告でした。これは、本
当に偶然のことです。そして、その公告
の中に松本載次さんの名前があつたのも
、偶然のことです。

人の生と死は、人それぞれのものです。
素晴らしい生き方とは、人それぞれに固
有のものです。

偶然とは言え、本田さんと松本さんの
生と死を表裏に載せることによつて、本
田さんの生と死を素晴らしいものとして
賛美し、松本さんの生と死をつまらない
ものとして対比させたと、受け取られた
人もいますかも知れません。そんな意図
では、ありません。有名であれ、無名
であれ、同じ時代に生きた人の生死であ
ることに、かわりはありません。

ただし、生きている限り、「一歩前へ」
の精神を！

夜間宿所や炊き出し、特掃に頼る生活から、生活保護制度の活用で、生活スタイルの転換を！

生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも（永住権を持つ外国人を含む）活用することが出来
ます。65歳以上でなければ、あるいは病気でなければ受けられない、というのはウソです。

大阪市立更生相談所（市更相）は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を渡
ったところにある建物です。

生身の生を大切に！ 森羅万象に内在し、己の中にも存在する神性・仏性を尊びましょう。